

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和4年8月12日

東員町議会

議長 三宅耕三様

東員町議会

議員 大谷勝治 ㊞

研 修 報 告 書

| | |
|-----------|--|
| 研修期間 | 令和4年8月 1日 (月) |
| 研修 () 先 | 東員町本会議場 |
| 目的 (テーマ等) | 地域経営を担う住民自治の根幹としての議会の作動 大正大学社会共生学部公共政策学科 江藤俊昭 |
| 資料添付の有無 | 有 ・ 無 |

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1[申し合わせ事項]:【委員会、全協:共通様式】

[氏名: 大谷 勝治]

所感

- ・自治法について
- ・質疑より議案審査が大切である
- ・一般質問は委員会の方が力になる
- ・議案についてデメリット、メリットを付ける
- ・コロナについて住民に寄り添う
- ・議会として情報を集める
- ・BCP 業務継続計画について
- ・議会基本条例は議会としてやって行く。
- ・質疑だけでなくまたは一般質問だけではなく討議をすることが大切です
- ・出来れば公開で討議を行う。

寄居町

- ・総合計画を前面に持ってくる、そうすることによって一般質問がついてくる
 - ・質問は議員の思い付きではない
 - ・行動計画について
 - ・議員の存在がわからない
 - ・1年のサイクル・4年のサイクルのなかで、4年間をどう動くのか。
 - ・事務評価
 - ・住民の声をきく、
 - ・世間から外れることがある
 - ・議会全体の意思とする
 - ① 委員会で一般質問を行う
 - ② 総合計画を基にして一般質問をしていく。
 - ① ②このキーワードは繰り返し発言されているので重要度がわかりました。
 - ・総合計画は数値目標だけではない。
 - ・監査委員は新たな追認機関ではない。
 - ・図書室を作ること。
 - ・議会改革か業務改革か
- 住民の福祉のために確認すること議案審査
- ・議員の報酬と定数については明確な活動方針を掲げ住民の要望に応える
- ※江藤先生の言葉は的確で、議員活動をしていく上で生きたアドバイスになった。

以上